

視察研修・研修会等報告書

議席番号(6) 議員名(櫻井 恵二)

1 年 月 日 令和元年 10 月 23 日～25 日 (日数 2 泊 3 日)

2 場 所 23 日(水)北海道旭川市

3 視察、研修事項 旭川市・子育て政策について

4 面 接 者 竹内貴信次長 坂本剛課長補佐 富田康文議会総務課長

5 視察研修、研修会の成果

旭川市 人口 335, 323 人 面積 747.66 km² 人口密度 448.5 人/km²

子育て政策について、条例目的は子どもが健やかに育つ環境づくりに関し基本理念を定め、並びに大人、保護者、地域住民、育ち学ぶ施設関係者、事業者及び市の役割を定めることによりその施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの夢や希望を市全体が支えるまちの実現に寄与することを目的とする。平成 24 年 3 月 23 日交付(4 月 1 日施行)

主な事業は ・子どもの未来応援事業 ・あさひかわっ子夢応援プロジェクト事業・保育士確保事業

・私立認可保育所等建設補助金 ・放課後児童クラブ ・子育て支援ナビゲーター活動事業

・私の未来プロジェクト事業 ・地域子育て支援拠点事業 ・産後ケア事業

《所感》

矢板市においても類似した施策はあると思うが、北海道という場所を考えると人口減少の歯止めは子どもを育てるのによりよい環境作りだと努力している姿が受け取れる。市が当初予想していた人口減少よりゆるやかな減少になっている。矢板市は地の利がとてもしいのだから、旭川のように切れ目なく特化した施策を打てるのであれば人口微増も夢ではないのではないかと思った。

今の子育て世代はどこで子どもを育てるのがいちばんいいかで住居を決める人も少なくないと思います。子育て世代にしぼって施策を打っていくこともありだと思いました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号(6) 議員名(櫻井 惠二)

1 年 月 日 令和元年 10 月 23 日～25 日 (日数 2 泊 3 日)

2 場 所 24 日(木)北海道東川町

3 視察、研修事項 人口増加策について

4 面 接 者 議会議長 高橋昭典 町長 松岡市郎 課長(吉原、佐藤、佐々木、北)

5 視察研修、研修会の成果

東川町 人口 8, 115 人 面積 247.06 km² 人口密度 32.85 人/km²

東川町は北海道のほぼ中央に位置し、大規模な森林地域を形成ししています。また日本最大の自然公園「大雪山国立公園」区域の一部になっています。大雪山連峰の最高峰(旭岳 2,291m)は東川町域に所在します。豊富な森林資源と優れた自然景観は観光資源として高く評価されています。

東川町日本語教育事業施設設立目的

- ・日本語、日本文化を世界に広め日本語教育を通して国際貢献を行う
- ・東川町は世界に向けて PR し、世界に開かれたまちづくりを推進する
- ・交流人口を増やし、地域および地域経済の活性化を図る

《所感》

日本語学校を軸として外国の人々を集め、住んでもらい、仕事をしてもらい、北海道というきびしい環境の中、まして小さな町で唯一人口 6,000 人から 8,000 人以上に増加させたのは町長をはじめ役場職員の並々ならぬ努力の結果だと思います。住みよいまちを作っていれば旭川市中心部より 13km という位置を利用して会社がなくても、住んで通勤してもらえ
るまちになるんだと今回の研修の中で一番参考になるまちだと思いました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号(6) 議員名(櫻井 惠二)

1 年 月 日 令和元年 10 月 23 日～25 日 (日数 2 泊 3 日)

2 場 所 25 日(金)北海道ニセコ町

3 視察、研修事項 まちづくりについて

4 面 接 者 企画環境課 川埜満寿夫 四條楓弥

5 視察研修、研修会の成果

人口 5,203 人 面積 197.13 km² 人口密度 26.4 人/km²

ニセコ町は道央の西部、後志地域ほぼ中央に位置し、標高は役場地点で 140m。

内陸的気候のため平均気温は 7.0 度、冬季の最深雪は 2m にも達する豪雪地である。

まちづくりの取り組み

基本概念 「住むことが誇りに思えるまちづくり」暮らしやすさが実感できる元気と

やすらぎのあるまちづくり

・情報共有 透明性の確保、説明責任の明確化

・住民参加 自らが責任をもって行動するまちづくり

《所感》

情報の共有と住民参加 まちづくりの基本ではあるが、このまちの密度での情報共有と住民参加はむずかしいと思った。

たいへん小さなまちではあるが、だからこそ全員参加のまちづくりが可能であったのかもしれないと思う。こんなまちづくりが本来は理想であるのだと思う。北海道のまちに研修に行かせていただいて思うことは、どこのまちも危機感をもって、後がないと思って行動をしている。職員も市民町民も。だからこそ他人から見てもおもしろい、特徴のあるまちづくりに見えるのだと思う。

視察研修・研修会等報告書

議席番号(6) 議員名(櫻井 恵二)

1 年 月 日 令和2年 1月 22日(水)～24日(金) (日数 2泊3日)

2 場 所 22日(水) 滋賀県高島市

3 視察、研修事項 空き家等対策における略式代執行について

4 面 接 者 定住推進室長 饗庭眞二 主任 石田裕樹 事務局長 日置武司

5 視察研修、研修会の成果

高島市は琵琶湖の北西部に位置し、京都 奈良の都と北陸を結ぶ交通の要衝として栄えました。日本海で水揚げされた鯖を運搬したことから「鯖街道」と呼ばれ往来が盛んであった。また、大津方面への湖上交通の拠点でもあったので、港町や宿場町としても賑わいました。

人口 49,628人 面積 693.05 km² 人口密度 71.6人/km²

・空き家等対策における略式代執行について

略式代執行をするための要件は、過失なくその措置を命ぜられるべき者を確認することができない、その措置が他人が代わってすることができる作為業務であること

《所感》

略式代執行は法律的にとっても微妙なところが多く、仮に出来たとしても連続で使える物ではなく、時間もかかる

いちばん大切なことは、ここまで放置しないことである

視察研修・研修会等報告書

議席番号(6) 議員名(櫻井 恵二)

1 年 月 日 令和2年1月23日(木) (日数 2 泊3日)

2 場 所 滋賀県長浜市

3 視察、研修事項 中心市街地における空き家の利活用について

4 面 接 者 長浜まちづくりコーディネーター 吉井茂人

5 視察研修、研修会の成果

人口約 118,000 人 面積 680 km²

大型店舗問題に端を発した長浜のまちづくりではあるが、単なる商店街の活性化の枠にとらわれず、長浜の歴史や文化も取り入れた都市活性化を図ったことが経済効果を高め、各方面の方々からの投資へとつながったと思う。

官民の連携した投資により都市活用を維持している。

《所感》

始めから計画をしたまちづくりではなく、必要に迫られて一つ一つ少しずつ時代の変化についていったまちづくりをしたのだと思う。

大手企業がいっぺんに大金を投資するのではなく、少しずつできるところから官民が一体となって作り上げている途中のものだと思います。今後どのように時代の変化とともに完成していくのかとても楽しみです。まちの規模は違いますが、このやりかたであるなら矢板市においても十分利用可能だと思いました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号(6) 議員名(櫻井 惠二)

1 年 月 日 令和2年1月24日(金) (日数 2泊3日)

2 場 所 滋賀県米原市

3 視察、研修事項 移住政策について

4 面 接 者 副議長 今中力松 局長 木村浩樹 課長補佐 磯部修 香取顕崇

5 視察研修、研修会の成果

米原市は滋賀県東北部に位置する面積の60%以上が森林である滋賀県唯一
新幹線の駅を有するまちである。

人口 38,992 人 面積 250.39 km²

・特定空き家の認定

老朽化がかなり進行し、市から特定空き家等に認定された場合、市から空き家
管理に対する指導や解体命令、行政代執行などを受ける可能性があります。また、
固定資産税の減免措置受けられなくなり税額が高くなるので、まずは空き家バンク
に早めに登録する。常時100人程度の移住希望者が空き家バンクに登録している
が、物件が登録してもらえない空き家は800軒を超えるが、登録は50戸程度であ
る。

《所感》

空き家バンクの使い方ひとつでまちが大きく変化するのは本市においても同じで
あると思う。登録をするメリット、登録をしないデメリットをはっきりさせることが大切で
はないか。また米原市は同じようなまち4つが合併したまちなので、本市より一層難
しいと思った。